

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	一
教育形態	講習会
プログラム名	キャリア・ソポーター養成講座
主催者(団体)	<p>○一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団(以下「財団」) ○キャリア・サポート事業運営委員会(以下「運営委員会」)が実施を認定した都道府県支部・学校法人等 ※令和2年度の財団以外の実施は全国1支部等(別紙8を参照)。 ※都道府県支部・学校法人等が実施する場合の手続は別紙1「養成講座実施要項」(支部委員会等での実施)、別紙5「学校主催の講座の流れ」を参照。</p>
協賛・後援	<p>後援(予定) ○公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会 ※令和元年度(実績)は別紙4「実施要項」(主催・後援)を参照。</p>
開催日程	<p>不定期 ○財団の今年度の予定開催日程は次のとおり。 ・東京:令和3年8月4日(水)~6日(金) ※令和2年度(実績)は別紙5「実施要項」(日時)を参照。 ○今年度実施予定の支部等は未定。</p>
総時間	<p>講習時間は合計21時間(3日間、休憩時間を除く)。 ※令和元年度(実績)は別紙4「実施要項」(日程)を参照。</p>
開催場所	<p>不定(東京会場1回)。 ○財団の今年度の予定開催場所は次のとおり。 ・東京:主婦会館プラザエフ ※令和元年度(実績)は別紙4「実施要項」(場所)を参照。 ○今年度実施予定の支部等は未定。</p>
対象者	<p>受講資格は次のいずれかの要件を満たす者。 ・財団が認める職業教育・キャリア教育機関の教職員で、かつ当該機関の長が推薦する者であること(非常勤及び就任予定者を含む) ・その他の教育機関の教職員で学生・生徒のキャリア教育やキャリア支援に携わっている者 ※令和元年度(実績)は別紙4「実施要項」(受講資格)、別紙7「受講申込書(兼推薦書)」を参照。 ○原則として財団の都道府県支部に加盟する学校に所属する者(開催案内は、財団主催は財団から全国の支部加盟校に、支部主催は当該支部から当該都道府県内の加盟校に送付。支部加盟の学校法人等主催は当該学校法人等が設置校や関連校に開催を通知)。</p>
定員	<p>○原則1会場24名(8名以上) ※令和元年度(実績)は別紙4「実施要項」(定員)を参照。</p>
題目	<p>○学生のキャリアを効果的に支援する「キャリア・ソポーター養成講座」 ※令和元年度(実績)は別紙2「開催案内」(表題)、「講座概要」を参照。</p>

プログラム(次第)	<p>○プログラムは次の項目の流れで進行。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①若者を受け止めよう(デモンストレーション、学生の現状点検) ②仕事、キャリア、キャリア開発(私の履歴書、仕事の根っ子、なぜ働くのか) ③キャリア・サポートのためのコミュニケーションスキル(基本態度、学生とのコミュニケーション) ④自己理解の促進(自分らしさの気づき、キャリア・アンカーの考察、エゴグラムによる自己分析、検査フィードバックの留意点、ライフ・キャリア) ⑤仕事理解とキャリア・ガイダンス(職業興味と職業選択、職業興味検査(VPI)の考察、仕事理解とキャリア・ガイダンス) ⑥キャリア・サポートの姿(どうするキャリア・サポート、実践を誓って) ※別紙3「全体プログラム」を参照。 <p>○講師は財団認定のトレーナー(別紙1「養成講座実施要項」(講師)、別紙4「実施要項」(認定講師プロフィール)を参照)。</p>
内容	<p>3日間の全課程を履修後、1週間以内にレポートを提出(課題内容等の詳細は講座のなかで説明)。レポート内容は、担当トレーナーによる確認を経た後、運営委員会が審査する。</p> <p>審査の結果、修了が認められると、「キャリア・サポーター認定証」を授与、認定・登録を行う。</p> <p>※別紙1「養成講座実施要項」(修了及び認定)、別紙4「実施要項」(認定要件)を参照。</p> <p>※講座修了・認定者が在籍する学校(平成30年度の実績)は別紙6「キャリア・サポーター在籍校一覧」。</p>
プログラムの目標	<p>学生生徒の職業観の醸成、職業人生の考え方等を側面支援し、学生生徒自身が自立的に取り組み、決定していくために、教職員に必要とされるマインド(態度や姿勢・考え方)を養成することを目的とする。</p> <p>※別紙1「養成講座実施要項」(目的等)、別紙4「実施要項」(目的)を参照。</p> <p>※受講者の講座に対する評価の概要(平成30年度の実績)は別紙6「受講者アンケートからの抜粋」。</p>
CPD点数	60点
料金	<p>○財団の場合は都道府県支部の加盟校1名73,000円、その他の学校107,000円(教材費、審査及び認定・登録料を含む)</p> <p>※別紙4「実施要項」(受講料)(審査及び認定・登録料)を参照。</p> <p>○都道府県支部・学校法人等の場合は実施主体ごとにより異なる(財団での審査及び認定・登録料を含む)。</p>
備考(問い合わせ先)	<p>○一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 事務局 総務課 TEL:03(3230)4814 FAX:03(3230)2688 E-Mail:csm@sgec.or.jp</p> <p>○今年度実施予定の支部等は未定。</p>
詳細URL	<p>一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団の研修研究事業を紹介するページのURLは以下のとおり。</p> <p>https://www.sgec.or.jp/index_new.cgi</p>

別紙1(2021.04.19)

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

「キャリア・ソポーター養成講座」実施要項

(通則)

- 第1条 研究研修事業等に関する規程（以下「規程」という。）第14条第1項第2号に定める事業のうち、「キャリア・ソポーター養成講座」は、この要項の定めるところにより、規程第2条第1項に定める委員会（以下「中央委員会」という。）が実施する。
- 2 中央委員会は、前項に定めるキャリア・ソポーター養成講座を円滑に運営するため、キャリア・サポート事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。
- 3 運営委員会は、この要項に定めるキャリア・ソポーター養成講座の運営に関する事項を中央委員会に報告するものとする。

(目的等)

- 第2条 本講座は、教員等のキャリア・サポート・マインドを培うことを目的とする。
- 2 前項に定めるキャリア・サポート・マインドは、学生が自分自身の「キャリア（働く意味、進路選択、職業適性、仕事人生等）」を自発的に設計・選択・決定できるように支援する上で、教職員が有すべき態度や姿勢をいう。

(受講資格及び受講者)

- 第3条 本講座の受講資格は、次の各号のいずれかの要件を満たす者とする。
- (1) 規程第14条第2項で定めた教職員で且つ当該機関の長の推薦する者であること（非常勤の者及び就任予定の者を含む）。
- (2) 第2条の目的を理解して受講を希望する者であること。
- 2 本講座の1回の受講者は、原則として8名以上24名までとする。

(講師)

- 第4条 本講座を運営する講師は、別に定める養成研修を受講し、合格の評価を受けて中央委員会が認定・登録した者（以下「キャリア・ソポーター養成トレーナー」という。）のなかから、運営委員会がその都度選任するものとする。
- 2 前項に定めるキャリア・ソポーター養成トレーナーは、「キャリア・ソポーター養成講座運営のためのトレーナーズ・ガイド（以下「トレーナーズ・ガイド」という。）」に従って講座を進めるものとする。

(講座の運営)

- 第5条 本講座の履修テーマ、時間及び内容は別に定める全体カリキュラムのとおりとし、1日ごとの内容及び順番等を変更せず実施するものとする。
- 2 前項に定める講座は、原則として同一年度内の連続する3日間で行うものとする。
- 3 前項の規定にかかわらず、運営委員会が第2条第1項に定める講座の目的等を達成し得ると認めるときは、1日目の開講から3週間以内に全課程を終了する方法で行うことができる。

(教材等)

第6条 本講座は、次の各号に掲げる教材等を使用するものとする。

- (1) キャリア・サポーター養成講座ステップガイド
- (2) その他、別に定めるトレーナーズ・ガイドで指定されている、または例示されている教具や資料

2 キャリア・サポーター養成トレーナーは、前項に定める教材等のほか、事前に運営委員会が第2条第1項に定める講座の目的等の達成に必要と認めた教材等を使用することができる。

(修了及び認定)

第7条 本講座の受講者のうち、受講の意欲や態度等が第2条第1項に定める講座の目的等を理解していると運営委員会が認めた者で、次の各号の要件を同時に満たしている者を修了とする。

- (1) 第5条に定める講座の3日間の内容を全て受講した者
- (2) 講座の受講後1週間以内に指定された課題を提出し、運営委員会が当該の課題を評価して修了と認めた者

2 中央委員会は、前項に定める要件を満たした者を認定して「キャリア・サポーター」の認定証を授与する。

(支部委員会等での実施)

第8条 本講座は、規程第2条第1項第2号に定める支部委員会（以下「支部委員会」という。）又は運営委員会が適正な講座を実施可能と認める組織及びキャリアコンサルタント（以下「支部委員会等」という。）で実施することができる。

- 2 支部委員会等で実施する講座の運用等については第2条から第7条を準用する。
- 3 支部委員会等は、講座実施45日前までに運営委員会へ事業計画案を提出し、承認を受けなければならない。
- 4 支部委員会等は、講座実施後1ヶ月以内に運営委員会へ終了報告書を提出するとともに、キャリア・サポーター審査・認定料（1名につき11,000円）を納入しなければならない。
- 5 運営委員会は、認定審査の結果、キャリア・サポーター認定が否決された者について、審査・認定料の返還は行わないものとする。

(個別講座の実施)

第9条 第5条の規定に関わらず、本財団及び支部委員会等は、本講座またはキャリア教育の普及促進等を目的とする研修等の実施にあたり、運営委員会の承認を受けた上で本講座のプログラムの一部を1日または2日の個別講座（以下、「個別講座」という。）として実施することができる。

- 2 支部委員会等は、研修等実施45日前までに運営委員会へ研修等の実施案を提出し、承認を受けるものとする。
- 3 支部委員会等は、研修等実施1週間前までに、別に定める個別講座のプログラム料を納入しなければならない。なお、一度納入されたプログラム料の返還は原則として行わない。
- 4 前項に関わらず、第2項で提出された実施案が本財団の行うキャリア・サポート事業に特

に有益であると運営委員会が認めた場合は、プログラム料の納入なしに個別講座を行うことができる。

- 5 個別講座の講師は本財団が認定した、キャリア・サポーター養成トレーナーが担当するものとする。
- 6 個別講座の講師謝金は、原則として運営委員会が別に定めるキャリア・サポーター養成講座の講師謝金と同等とする。
- 7 支部委員会等は、研修等実施後2週間以内に運営委員会へ終了報告書を提出するものとする。
- 8 本条に定めるもののほか、個別講座の実施に関し必要な事項は、運営委員会が別に定める。

(キャリア・サポーターによる地域別勉強会への支援)

- 第10条 キャリア・サポーターが地域別に開催する勉強会（以下、「地域勉強会」という。）を主催する団体またはキャリア・サポーター（以下、「地域勉強会主催者」という。）は、運営委員会の承認を受けた上で、本財団から開催費補助等の支援を受けることができる。
- 2 支援を受けることのできる地域勉強会は、次のものとする。
 - (1) プログラムが、キャリア・サポーター等の啓発・能力向上に資するものであること。
 - (2) 講師を除く参加者総数が5名以上であること。
 - (3) 専ら同一法人、同一グループからの参加者を対象として行われるものでないこと。
 - 3 本財団が行うことのできる支援は次のものとする。
 - (1) 開催費（会場借料、講師謝金、講師旅費、印刷製本費、通信費）の総額を上限とする別に定める開催費補助。
 - (2) 本財団による後援名義の使用許可。
 - (3) 地域勉強会開催にあたっての助言・提案。
 - 4 支援を希望する地域勉強会主催者は、実施3週間前までに運営委員会へ企画案を提出し、承認を受けるものとする。また、実施後2週間以内に、報告書（収支報告を含む）などを提出するものとする。
 - 5 本財団は、地域勉強会の実施内容を広報活動に使用することができる。
 - 6 本条に定めるもののほか、地域勉強会への支援実施に関し必要な事項は、運営委員会が別に定める。

(補則)

- 第11条 この要項に規定されていない事項については、中央委員会において審議の上、これを定めるものとする。

附則

- 1 この要項は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 第7条第1項の規定にかかわらず、次の者はキャリア・サポーター養成講座を修了した者として認め、キャリア・サポーターの認定および登録を行うものとする。

- (1) 平成16年12月15・16・17日に実施した「CSM講座実証講習会」の全課程を受講した者
 - (2) 「キャリア・サポーター養成講座 講師養成研修及び認定等に関する実施要項」においてキャリア・サポーター養成トレーナー（旧・CSMトレーナー）の認定・登録を受けた者
- 3 この実施要項は、平成26年4月1日から改正施行する。
この実施要項は、平成26年5月12日から改正施行する。
この実施要項は、平成28年2月3日から改正施行する。
この実施要項は、平成28年5月13日から改正施行する。
この実施要項は、平成28年12月16日から改正施行する。

学生のキャリアを効果的に支援する キャリア・ソポーター養成講座 開催のご案内

2019年度版



キャリア・サポーター、足りていますか？

学生のキャリアを効果的に支援する

東京

キャリア・サポーター

養成講座を開催いたします！



今、学生には、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。学生のキャリア支援を充実させるため、今一度、教職員のキャリア・サポート・マインドの養成が求められています。

キャリア・サポートとは…

学生・生徒が自分自身のキャリア（仕事に関わる人生）を
主体的に設計・選択・決定できるように支援すること

本講座は、キャリア・サポートを推進するために、教職員が持つべき態度や姿勢・考え方を養成する独自のプログラムで行われる研修です。開講14年目・全国で402校、1,377人のサポーターが活躍しています。

◆目的

学生・生徒の職業観の醸成、職業人生の考え方などを側面支援し、学生・生徒自身が自立的に取り組み、決定していくために、教職員に必要とされるマインド（態度や姿勢・考え方）や能力を養成することを目的とします。

◆特徴

アクティブラーニングの応用により、大人数のセミナーと異なり少人数のグループワークで、「主体的・対話的で深い学び」から多くの気づきを得ることを特徴としています。様々な学校の教職員の方とともにグループワークをすることで、学生に対する心構えやコミュニケーションの方法を学び、講座修了後に実践できる「腑に落ちる研修」・「実践できる研修」です。

◆資格認定

全プログラムに参加して、条件を満たせば「キャリア・サポーター」として認定されます。



キャリア・サポーターとしての心構えと能力を身につけます

全体プログラム(予定)

キャリア・サポートー養成講座では、3日間の研修でキャリア・サポートーとしての心構え、および手法を身につけます。知識として身につけるだけではなく、キャリア・サポートを実践できるためのプログラムです。

学生の現状を受け止め「キャリア」について理解します。

◇講座オリエンテーション

1. 若者を受け止めよう
 - (1) デモンストレーション シェアリング
 - (2) 学生の現状点検 グループワーク
 2. 仕事、キャリア、キャリア開発
 - (1) 私の履歴書 シート作成 シェアリング
 - (2) 仕事の根っ子 シート作成 シェアリング
 - (3) なぜ働くのか シート作成 シェアリング



「自己理解」を通して、個性に合った支援のやり方を学びます。

- 3. キャリア・サポートのための
コミュニケーションスキル
 - (1) 基本態度 **実習**
 - (2) 学生とのコミュニケーション **ロールプレイング**
 - 4. 自己理解の促進
 - (1) 自分らしさの気づき
 - (2) キャリア・アンカーの考察 **自己チェック**
 - (3) エゴグラムによる自己分析 **自己チェック**
 - (4) 検査フィードバックの留意点
 - (5) ライフ・キャリア **シート作成** **シェアリング**



「仕事理解」で、職業選択のやり方を理解し、学内での支援方策を考えます。

- 5. 仕事理解とキャリア・ガイダンス
 - (1)職業興味と職業選択 実習 シェアリング
 - (2)職業興味検査（VPI）の考察
 - (3)仕事理解とキャリア・ガイダンス
 - 6. キャリア・サポートの姿
 - (1)どうするキャリア・サポート グループワーク
 - (2)実践を軸って 相互コメント

◇全体を振り返って

※事情によりプログラムは時間変更することがあります。
※受講終了後のレポート提出が、修了要件となっています。



実践へ

都道府県支部や学校単位で講座を開催できます

学校主催の講座の流れ

学校法人や都道府県協会等の主催による、キャリア・サポーター養成講座も実施することができます。



1 講座を立案し、財団事務局へ事業計画案を提出

受講料・講師謝金等の設定を含む事業計画案を、講座実施1ヶ月前までに財団事務所へご提出していただきます。「受講料」は、財団事務局へ支払う審査・認定料（項目⑤参照）、講師謝金（原則として税込210,000円）、講師旅費（実費）を含めて設定してください。

2 受講者を募集し、受講料を徴収

受講者の募集と、審査・認定料を含む受講料を徴収してください。1講座あたりの受講者数は、原則として、8名以上24名までとします。受講料は、財団事務局へ支払う審査・認定料（項目⑤参照）を必ず含めて徴収してください。

3 講座を運営、講師謝金の支払い

養成講座カリキュラムに基づき、21時間（1日7時間×3日間）実施してください。キャリア・サポーターとして認定されるためには、認定トレーナーによる講座21時間の全課程受講が必修です。連続する3日間、または1日目の開講から3週間以内に全課程を終了する日程で実施していただく必要があります。備品（文房具等）及び副教材は、都道府県協会・学校法人等で準備してください。

主な副教材：「キャリア・アンカー」「セルフ・アセスメント」（1冊約1,830円程度×人数分）
「VPI職業興味検査」問題・回答用紙（20名分セット約19,500円程度）

4 受講者レポートの提出

全課程履修後、受講者「課題レポート」・「アンケート」を取りまとめ、財団事務局へ提出してください。「課題レポート」「アンケート」の内容、取りまとめ方法は、財団事務局から連絡します。

5 審査・認定・登録料の支払いと認定書の送付

キャリア・サポーター審査・認定料（1名につき11,000円）を本財団にお支払いいただきます。審査を経て本財団がキャリア・サポーターと認定した方には、本財団から主催団体に認定証を一括してお届けします。

<お問い合わせ先>

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 事務局

総務課 ト部

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館

別館11階 TEL:03(3230)4814 FAX:03(3230)2688

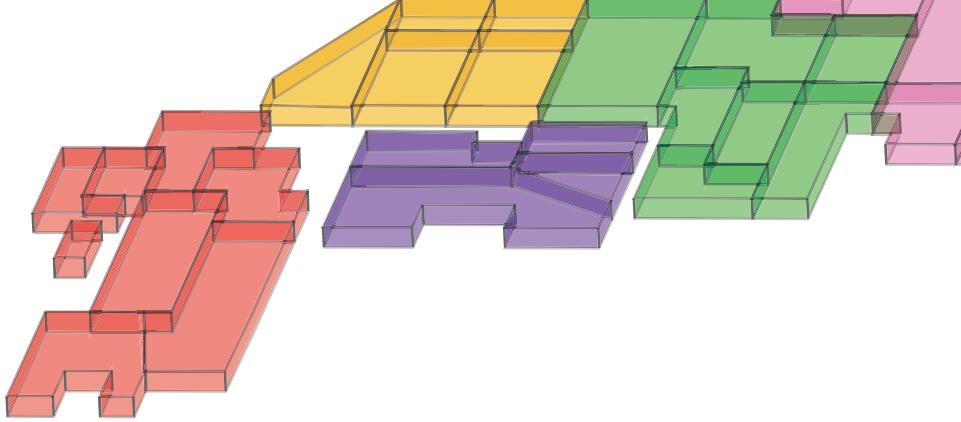
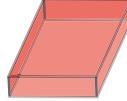
全国 402 校、1,377 人のサポーターが活躍しています!

キャリア・サポーター養成講座受講団体一覧

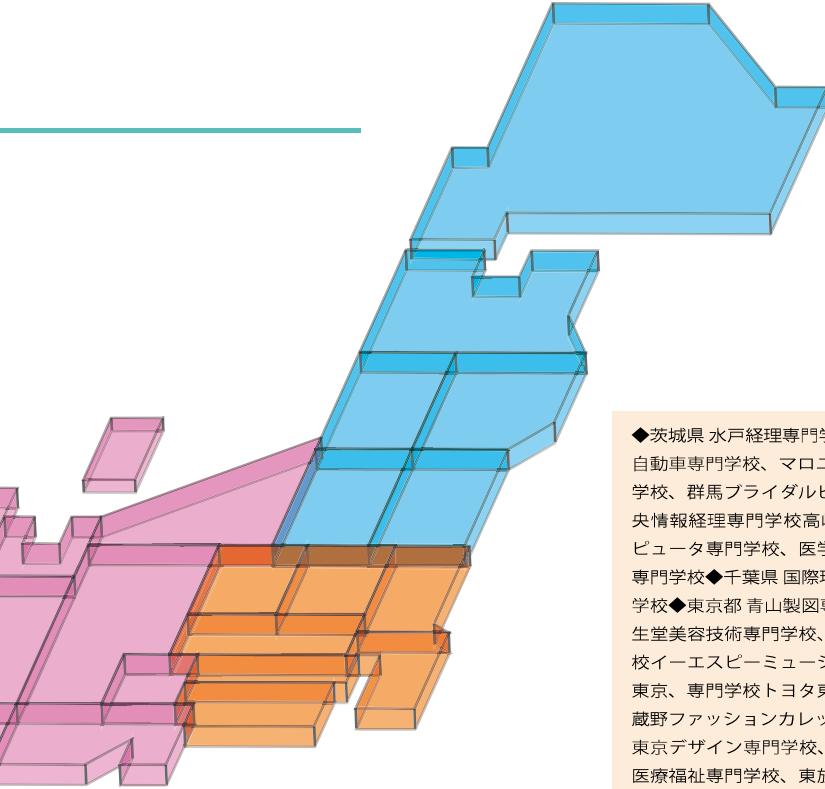
◆鳥取県 専門学校鳥取情報経理学院、◆島根県 出雲コアカレッジ、山陰中央専門学校、島根デザイン専門学校、島根リハビリテーション学院、専門学校松江総合ビジネスカレッジ◆岡山県 朝日医療専門学校、朝日高等歯科衛生専門学校、朝日リハビリテーション専門学校、岡山科学技術専門学校、岡山プロフェッショナル・ビューティ専門学校、岡山理科大学専門学校、くらしき総合福祉専門学校、専門学校岡山情報ビジネス学院、専門学校岡山ビジネスカレッジ、専門学校岡山情報ビジネス学院、専門学校倉敷ファッショナカレッジ、専門学校ビーマックス、中国デザイン専門学校、西日本調理製菓専門学校◆広島県 IGL 医療福祉専門学校、穴吹医療福祉専門学校、穴吹学園、穴吹情報デザイン専門学校、穴吹デザイン専門学校、小井手ファッショナビューティ専門学校、トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校、広島会計学院専門学校、広島コンピュータ専門学校、広島情報専門学校、広島情報ビジネス専門学校◆山口県 専門学校YIC グループ、専門学校YIC リハビリテーション大学校、徳山総合ビジネス専門学校、山口コ・メディカル学院、山口コアカレッジ、YIC 学院、YIC 看護福祉専門学校、YIC キャリアデザイン専門学校、YIC 公務員専門学校、YIC ビジネスアート専門学校、YIC ビューティモード専門学校、YIC 保育&ビジネス専門学校◆徳島県 専門学校穴吹情報公務員カレッジ、その他 1 団体

◆福岡県 ILP お茶の水医療福祉専門学校、麻生医療福祉専門学校福岡校、麻生外語観光&製菓専門学校、麻生情報ビジネス専門学校、F・C フチガミ医療福祉専門学校、大村美容ファッショナ専門学校、北九州保育福祉専門学校、キャリア・サポート・オフィス一步、製菓・医療九州ビジネス専門学校、専修学校麻生ビューティーカレッジ、専門学校麻生リハビリテーション大学校、専門学校九州テクノカレッジ、専門学校北九州看護専門学校、専門学校久留米自動車工科大学校、専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ、専門学校日本デザイナー学院、専門学校日本ビジネススクール、専門学校福岡カレッジ・オブ・ビジネス、九州英数学館、専門学校共生館国際福祉医療カレッジ、中村調理製菓専門学校◆佐賀県 唐津ビジネスカレッジ◆長崎県 九州医学技術専門学校、こころ医療福祉専門学校、専修学校 T ot a l Beauty College Belle Femme、長崎県美容専門学校、長崎コンピュータ専門学校、長崎リハビリテーション学院◆熊本県 九州工科自動車専門学校、専修学校熊本壱溪塾、日本総合教育専門学校◆大分県 専門学校明日香美容文化専門学校、大分スクール・オブ・ビジネス、明日香国際・ホテル&ウエディング専門学校◆宮崎県 大原簿記公務員専門学校、都城コアカレッジ、都城デンタルコアカレッジ、宮崎情報ビジネス専門学校、宮崎福祉医療カレッジ、宮崎ベットワールド専門学校◆鹿児島県 鹿児島医療技術専門学校、鹿児島外語学院、鹿児島情報ビジネス専門学校、その他 1 団体◆沖縄県 KBC 学園、学校法人湘央学園浦添看護学校、沖縄アカデミー専門学校、サイ・テク・カレッジ、尚学院国際ビジネスアカデミー、専修学校インターナショナルデザインアカデミー、専修学校インターナショナルリゾートカレッジ、専修学校エルケア医療保育専門学校、専修学校沖縄大原簿記公務員専門学校、専修学校沖縄ベットワールド専門学校、専修学校国際電子ビジネス専門学校、専修学校ビューティーモードカレッジ、専門学校那覇日経ビジネス、専門学校日経ビジネス、専門学校日経ビジネス工学院、専門学校ライフジュニアカレッジ、那覇情報システム専門学校、パシフィックテクノカレッジ学院、琉球調理師専修学校

◆三重県 旭美容専門学校、鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校◆滋賀県 甲賀健康医療専門学校、国際経営情報専門学校、滋賀ビジネス学院◆京都府 <専> YIC 京都工科大学、京都医健専門学校、京都コンピュータ学院京都駅前校、京都調理師専門学校、京都美容専門学校、YIC 京都ビューティ専門学校、YIC 京都ベット総合専門学校◆大阪府 E C C コンピュータ専門学校、英風女子高等専修学校、大阪医療福祉専門学校、大阪外語専門学校、大阪技能専門学校、大阪工業技術専門学校、大阪情報コンピュータ高等専修学校、大阪情報コンピュータ専門学校、大阪情報専門学校、大阪総合デザイン専門学校、大阪美容専門学校、大阪ベビイ動物看護専門学校、高津理容美容専門学校、修成建設専門学校、駿台観光アンド外語ビジネス専門学校、創造社デザイン専門学校、中央工学校OSAKA、辻製菓専門学校、辻調理師専門学校、東朋高等専修学校、東洋医療専門学校、トライデントコンピュータ専門学校大阪、履正社医療スポーツ専門学校、その他 4 団体◆兵庫県 関西保育福祉専門学校、神戸医療福祉専門学校三田校、専修学校西宮甲英高等学院、専門学校トヨタ神戸自動車大学校、ビジネス専門学校キャリアカレッジ但馬、姫路歯科衛生専門学校、姫路福祉保育専門学校、兵庫栄養調理製菓専門学校、ヘアラルト阪神理容美容専門学校、その他 3 団体◆奈良県 権原美容専門学校



◆新潟県 国際ビューティモード専門学校、国際ホテル・ブライダル専門学校、晴陵リハビリテーション学院、専門学校新潟国際自動車大学校、新潟医療福祉カレッジ、新潟高度情報専門学校、新潟こども医療専門学校、新潟ビジネス専門学校、新潟リハビリテーション専門学校、日本こども福祉専門学校、◆富山県 高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所、富山医療福祉専門学校、富山情報ビジネス専門学校◆石川県 金沢福祉専門学校、専門学校アリスト学園、専門学校金沢美專◆長野県 飯田コアカレッジ、伊那ビジネス専門学校、上田情報ビジネス専門学校、臼田経理専門学校、エプソン情報科学専門学校、岡学園トータルデザインアカデミー、信州医療福祉専門学校、専門学校カレッジオブキャリア長野校、専門学校長野ビジネス外語カレッジ、専門学校未来ビジネスカレッジ、豊野高等専修学校、長野医療衛生専門学校、長野医療技術専門学校、長野救命医療専門学校、長野社会福祉専門学校、長野ビジネスアカデミー、長野ビジネス学院、長野美術専門学校、長野平青学園、松本衣デザイン専門学校、松本医療福祉専門学校、松本歯科大学衛生学院、松本情報工科専門学校、松本調理師製菓専門学校、松本理容美容専門学校、丸の内ビジネス専門学校、その他 2 団体◆岐阜県 大原簿記医療観光専門学校岐阜校、専修学校中部国際自動車大学校、専門学校飛騨国際工芸学園、中日本航空専門学校、ベルフォートアカデミーオブビューティ◆静岡県 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校静岡校、大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校、大原法律公務員専門学校浜松校、大原簿記情報医療専門学校静岡校、大原簿記情報医療専門学校浜松校、大原簿記情報医療専門学校浜松校、国際ことば学院外国語専門学校、静岡アルス美容専門学校、静岡県美容専門学校、静岡産業技術専門学校、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校、静岡デザイン専門学校、静岡福祉医療専門学校、静岡理工科大学、白百合洋裁専修学校、専門学校静岡工科自動車大学校、専門学校静岡電子情報専修学校、専門学校中央医療健康大学校、専門学校浜松医療学院、専門学校浜松デザインカレッジ、専門学校ルネサンス・デザインアカデミー、中遠調理師専門学校、中央歯科衛生士調理製菓専門学校、中央調理製菓専門学校静岡校、東海医療学園専門学校、東海調理製菓専門学校、東海文化専門学校、常葉学園静岡リハビリテーション専門学校、沼津情報・ビジネス専門学校、浜松情報専門学校、浜松調理菓子専門学校◆愛知県 大原法律公務員専門学校、大原簿記情報医療専門学校、国際医療管理専門学校名古屋校、国際観光専門学校名古屋校、専門学校トヨタ名古屋自動車大学校、専門学校名古屋デザイナー学院、専門学校日産愛知自動車大学校、中部楽器技術専門学校、東海医療科学専門学校、東海医療工学専門学校、名古屋栄養専門学校、名古屋観光専門学校、名古屋工学院専門学校、名古屋製菓専門学校、名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校、山本学園情報文化専門学校、その他 2 団体



◆北海道 帯広コア専門学校、北見美容専門学校、経専医療事務商業専門学校、経専音楽放送芸術専門学校、経専調理製菓専門学校、経専北海道観光専門学校、経専北海道どうぶつ専門学校、経専北海道保育専門学校、札幌医療科学専門学校、札幌リハビリテーション専門学校、専修学校ロシア極東大函館校、北海道エコ・動物自然専門学校、北海道農業協同組合学校、北海道ハイテクノロジー専門学校、その他1団体◆青森県 専門学校アレック情報ビジネス学院、東奥保育・福祉専門学院、東北コンピュータ専門学校◆宮城県 仙台総合ベット専門学校、専門学校デジタルアーツ仙台、東北電子専門学校◆秋田県 秋田コアビジネスカレッジ◆山形県 専門学校山形V.カレッジ、山形厚生看護学校、その他1団体◆福島県 ケイセンビジネス公務員カレッジ、郡山学院高等専修学校

◆茨城県 水戸経理専門学校、その他2団体◆栃木県 宇都宮美容専門学校、国際テクニカルデザイン・自動車専門学校、マロニ工医療福祉専門学校◆群馬県 群馬県高等歯科衛生士学院、群馬県美容専門学校、群馬プライダルビジネス専門学校、専門学校群馬自動車大学校、中央情報経理専門学校、中央情報経理専門学校高崎校、中央動物看護専門学校◆埼玉県 上尾中央医療専門学校、アルスコンピュータ専門学校、医学アカデミー、埼玉県理容美容専門学校、中央情報専門学校、東武医学技術専門学校◆千葉県 国際理工情報デザイン専門学校、千葉情報経理専門学校、明生情報ビジネス専門学校◆東京都 青山製圖専門学校、国際文化理容美容専門学校国分寺校、国際理容美容専門学校、資生堂美容技術専門学校、篠原保育医療情報専門学校、尚美ミュージックカレッジ専門学校、専門学校イーエスピーミュージカルアカデミー、専門学校桑沢デザイン研究所、専門学校デジタルアーツ東京、専門学校トヨタ東京自動車大学校、専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ、専門学校武蔵野ファッショントールドカレッジ、専門学校誂壳自動車大学校、東京医療専門学校、東京調理製菓専門学校、東京デザイン専門学校、東京電子専門学校、東京美容専門学校、東京福祉専門学校、東京YMC A医療福祉専門学校、東放学園映画専門学校、東放学園音響専門学校、東放学園高等専修学校、東放学園専門学校、日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本デザイン福祉専門学校、日本電子専門学校、日本フラーーデザイン専門学校、日本リハビリテーション専門学校、二葉栄養専門学校、二葉ファッショニアカデミー、ホスピタリティツーリズム専門学校、ヤマザキ動物専門学校、山脇美術専門学院、早稲田速記医療福祉専門学校、早稲田文理専門学校◆神奈川県 岩谷学園、岩谷学園、岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校、横浜システム工学院専門学校、横浜デザイン学院、湘央医学技術専門学校、湘央生命科学技術専門学校

◆香川県 穴吹学園、香川県歯科医療専門学校、四国医療専門学校、その他2団体、専門学校穴吹コンピュータカレッジ、専門学校穴吹デザインカレッジ、専門学校穴吹ビジネスカレッジ、専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ、専門学校禅林学園◆愛媛県 愛媛調理製菓専門学校、河原ITビジネス専門学校、河原アイベットワールド専門学校、河原医療福祉専門学校、河原デザイン・アート専門学校、河原パティシエ・医療・観光専門学校、河原ビューティemode専門学校、その他4団体◆高知県 高知開成専門学校、高知情報ビジネス&フード専門学校、高知理容美容専門学校、国際デザイン・ビューティカレッジ、CIJ ほくでん、龍馬看護ふくし専門学校



受講者の評価が 「大変良かった」95.5%!

平成30年度 キャリア・サポーター養成講座
(東京・大阪会場) ~受講者アンケートからの抜粋~
※事務局により一部編集

毎年 受講された教職員の方々から「学生への支援のやり方がわかった」という感想をいただいています。受講者アンケートより、その一部を紹介します。



養成講座に参加して、キャリア・サポートの重要性について、多くの学びを得ることができました。特に、グループワークを中心だったので、メンバーからの具体的なアドバイスや事例の話を、分野を超えて共有することができました。



学校に戻ってどのように教職員・学生に返していくのかを考えながら受けしていましたが、全てが持ち帰って実践していきたいと思える内容でした。



他の参加者の方と問題や課題を共有でき、また、それについて話し合うことで皆様のキャリアを知ることができました。また、自分自身を見つめ直すことで、様々な発見や気づきがあり、有意義な時間を過ごすことができました。

FAX 03-3230-2688

受講申込書(兼推薦書)※コピーしてお使いください

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
キャリア・サポート事業運営委員会 御中

2019年 月 日

教育機関名(学校名) _____

校長名 _____ 印
(個人参加の場合、ご記入は不要です)

「学生のキャリアを効果的に支援する キャリア・サポーター養成講座」の受講を申し込みます。

開催日 会場	2019年7月31日(水)～8月2日(金) 日本電子専門学校		
貴校名	※受講料は原則としてお申し込みの教育機関名(学校名)にてお振込ください。法人名にてお振込予定の場合は、以下の記入欄に法人名をご記入ください。		
	教育機関名(学校名)	法人名	
受講 希望者名	ご芳名	性別	生年月日
	フリガナ ――――――――――――	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	西暦 年 月 日
	部署・役職名等	教員・職員	
		<input checked="" type="radio"/> 教員	<input type="radio"/> 職員
	※ご提供いただいた個人情報は、講座開催前後の事務連絡、講習時のグループ分け及び修了後の関係情報提供以外には利用いたしません。 ※講師・受講者・事務局に配布する「受講者名簿」には都道府県名・氏名・学校名のみ掲載させていただきます。		
受講希望 者連絡先	教育機関(学校)所在地 〒		
	TEL	――――	
	FAX	――――	
	e-mail	※必ずご記入ください。	
受講料 (教材費 を含む)	TCE財団の都道府県支部の会員校教職員…1名：62,000円 上記以外…1名：96,000円 ※別途、審査及び認定・登録料11,000円が必要となります。 ※「TCE財団の都道府県支部」は、本財団HPの「名簿等」にてご確認ください。		

<ご返信先> 送付状は不要です。本状のみ送信ください。

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団事務局 総務課

別紙8

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団「キャリア・ソポーター養成講座」令和元年度実施支部等一覧

令和3年4月1日時点の実績

県名	実施支部等 (正式団体名等)	団体等 URL	連絡先 ・TEL ・FAX ・E-mail	定員 (人)	開催日程 開催場所
岡山	(一社)岡山県 専修学校各種 学校振興会	http://www.senkaku.okayama.okayama.jp/	086-226-7198 086-234-7433 senkakuhamahara@yahoo.co.jp	8	令和2年7月29日～31日(9時～17時(3日間)、各7時間) 於:中国デザイン専門学校